

**2018年3月期
第2四半期 決算説明会**

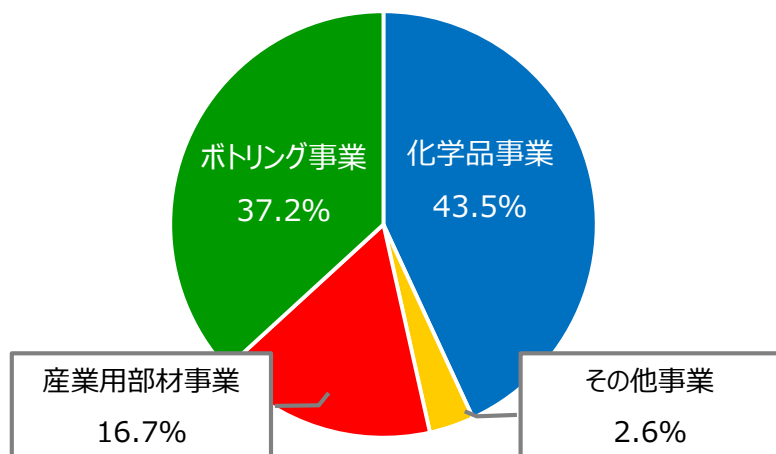
2017.12.8

 **カーリットホールディングス株式会社**

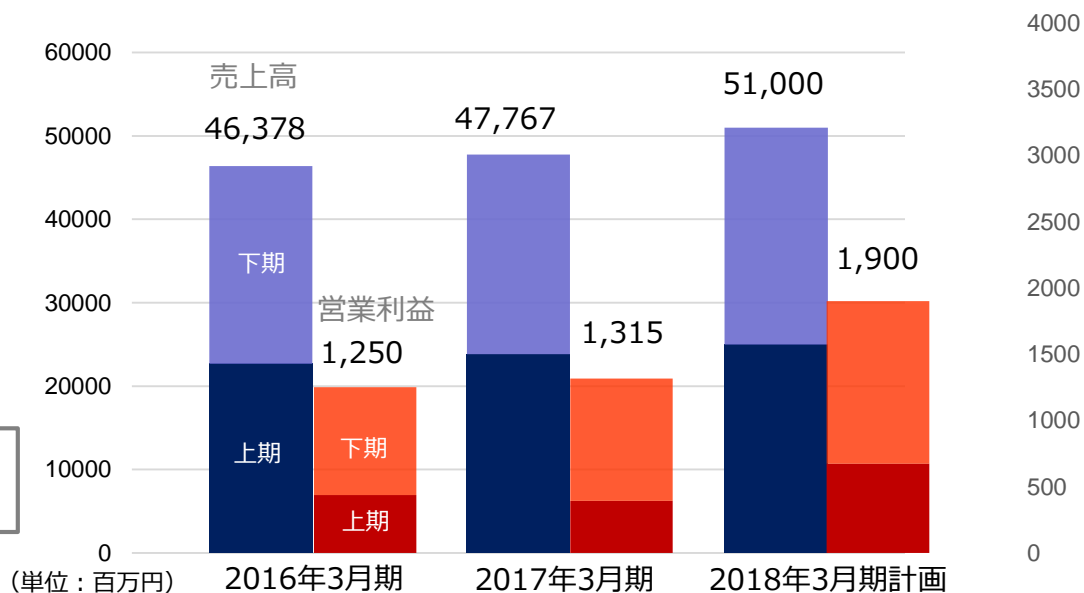
CODE : 4275

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 廣橋 賢一
創 業	1918年	設 立	2013年10月 1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,049名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単元100株)	単元株主数	24,232名

<2018年3月期第2四半期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>



2018年3月期
第2四半期 決算概要

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	差 異
売上高	23,831	24,964	1,132
売上原価	20,304	21,106	801
率	85.2%	84.6%	△0.6%
販売費及び一般管理費	3,133	3,183	50
率	13.2%	12.8%	△0.4%
営業利益	393	674	280
率	1.7%	2.7%	1.0%
経常利益	443	777	333
率	1.9%	3.1%	1.2%
純利益	254	518	263
率	1.1%	2.1%	1.0%

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	差異	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	差異
化学品	10,328	10,868	540	267	425	157
ボトリング	9,057	9,283	225	120	124	3
産業用部材	3,895	4,175	280	75	149	74
小計	23,280	24,327	1,046	463	699	236
その他・消去	550	637	86	△70	△25	44
連結合計	23,831	24,964	1,132	393	674	280

化学品 ⇒ 発炎筒・危険性評価試験 = 増販、コンデンサ向け材料・イオン導電材料 = 大幅増販

ボトリング ⇒ 増強したペットボトル飲料製造ライン寄与

産業用部材 ⇒ シリコンテクノロジー = 採算性見直しによる収益改善・市場環境の回復
東洋発條 = 販路の拡大・市場環境の回復

その他 ⇒ 富士商事 = 新規顧客獲得、エスディーネットワーク = 新規連結寄与

(単位：百万円)

	2017年 3月31日	2017年 9月30日	差異		2017年 3月31日	2017年 9月30日	差異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	4,262	4,002	△260	支払手形及び買掛金	5,939	7,727	1,787
受取手形及び売掛金	10,885	12,938	2,052	有利子負債	10,307	10,676	368
棚卸資産	3,834	4,132	297	その他負債	9,250	9,399	149
その他流動資産	1,228	1,201	△26	負債合計	25,518	27,802	2,284
有形固定資産	19,961	20,333	371	純資産の部			
無形固定資産	580	454	△126	株主資本	20,639	20,919	280
投資その他の資産	8,695	9,694	999	その他の包括利益 累計額等	3,280	4,030	749
				純資産合計	23,920	24,949	1,029
資産合計	49,438	52,752	3,314	負債純資産合計	49,438	52,752	3,314

受取手形及び売掛金 +2,052

その他の包括利益累計額等 +749

支払手形及び買掛金 +1,787

自己資本比率 47.3%

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期		
営業活動による キャッシュ・フロー	767	1,034	税金等調整前四半期純利益	770
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 736	△ 1,246	減価償却費	902
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 131	11	売上債権の増減額	△ 1,923
現金及び現金 同等物の増減額	△ 166	△ 205	仕入債務の増減額	1,851
現金及び現金 同等物の期首残高	4,788	4,131	固定資産の取得による支出	△ 1,419
現金及び現金 同等物の期末残高	4,621	3,925		

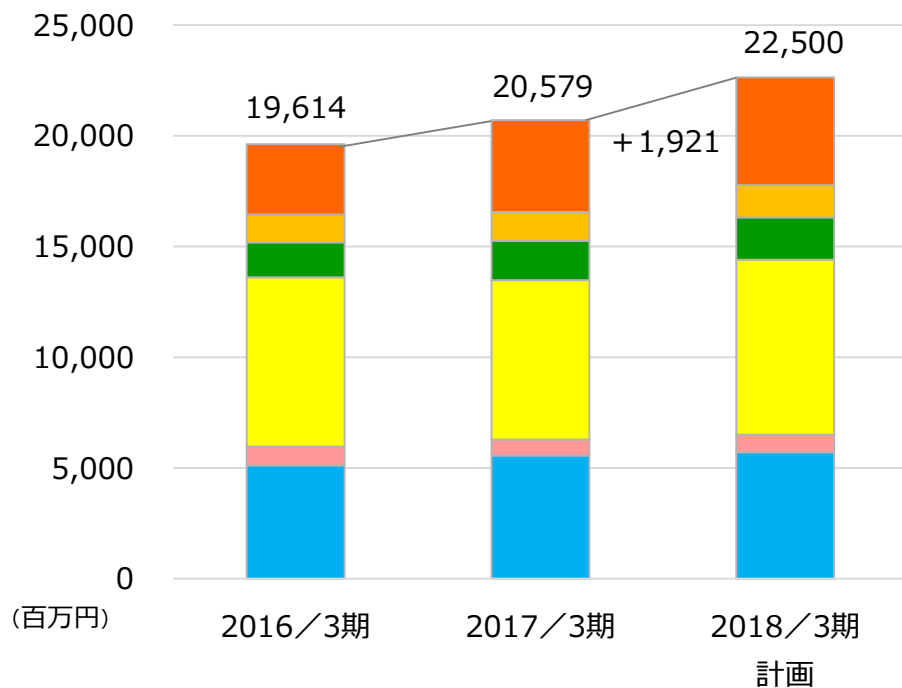
2018年3月期 業績予想

(単位：百万円)

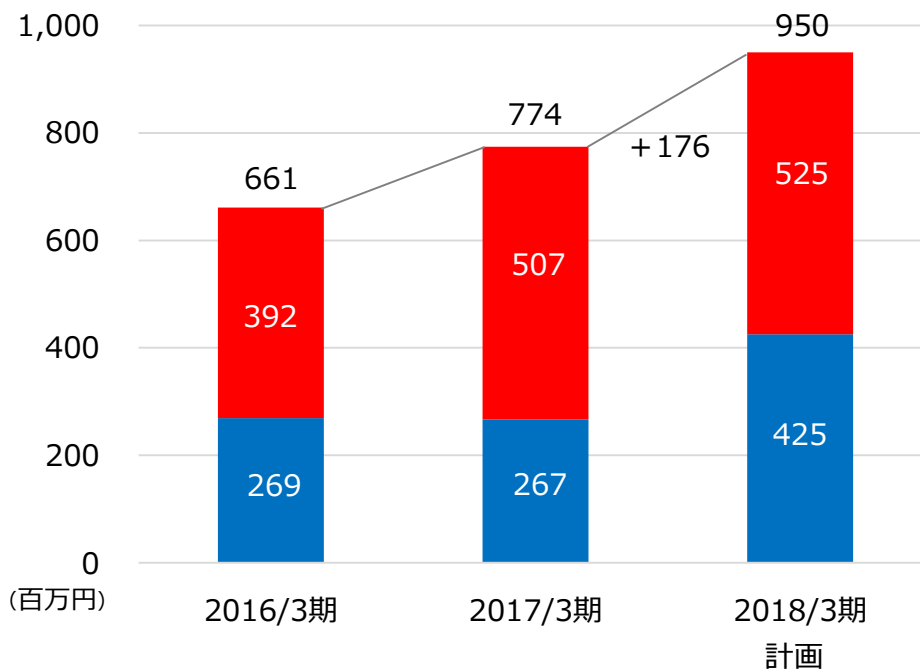
	当初予想	修正予想	差異	前期実績
売上高	51,000	51,000	—	47,767
営業利益	1,500	1,900	400	1,351
経常利益	1,550	2,000	450	1,439
純利益	850	1,200	350	765

	売上高				営業利益			
	2018年3月期 通期 当初計画	2018年3月期 通期 修正計画	差異	(参考) 2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期 当初計画	2018年3月期 通期 修正計画	差異	(参考) 2017年3月期 通期実績
化学品	22,500	22,500	－	20,579	800	950	150	774
ボトリング	18,500	18,500	－	17,588	460	520	60	377
産業用部材	8,000	8,000	－	7,980	210	320	110	217
報告セグメント計	49,000	49,000	－	46,147	1,470	1,790	320	1,369
連結合計	51,000	51,000	－	47,767	1,500	1,900	400	1,351
				経常利益	1,550	2,000	450	1,439
				純利益	850	1,200	350	765

【売上高】













【営業利益】



■ 化薬 ■ 受託評価 ■ 化成品 ■ 電子材料 ■ セラミック ■ その他

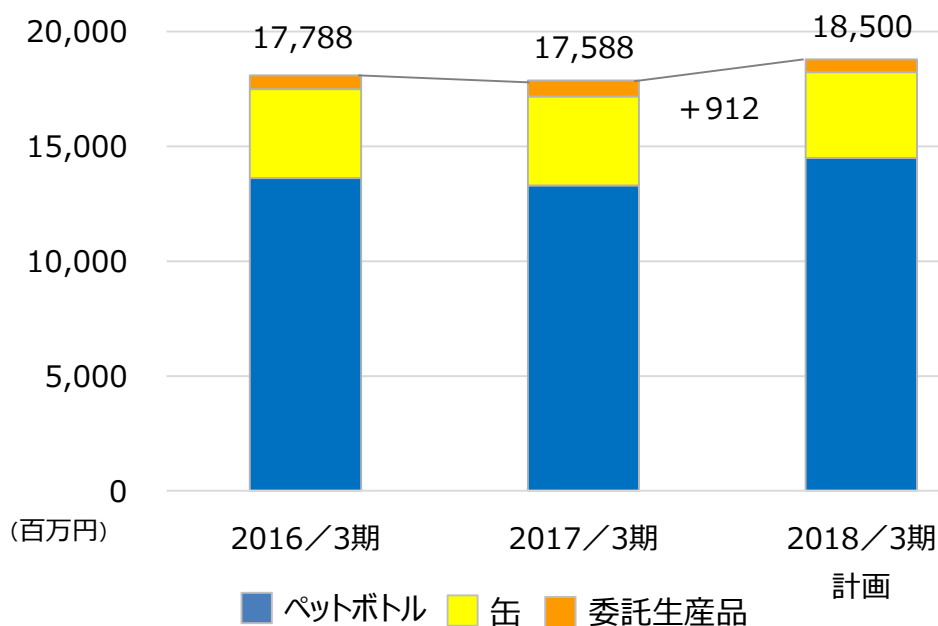
■ 上期 ■ 下期

【分野別動向】

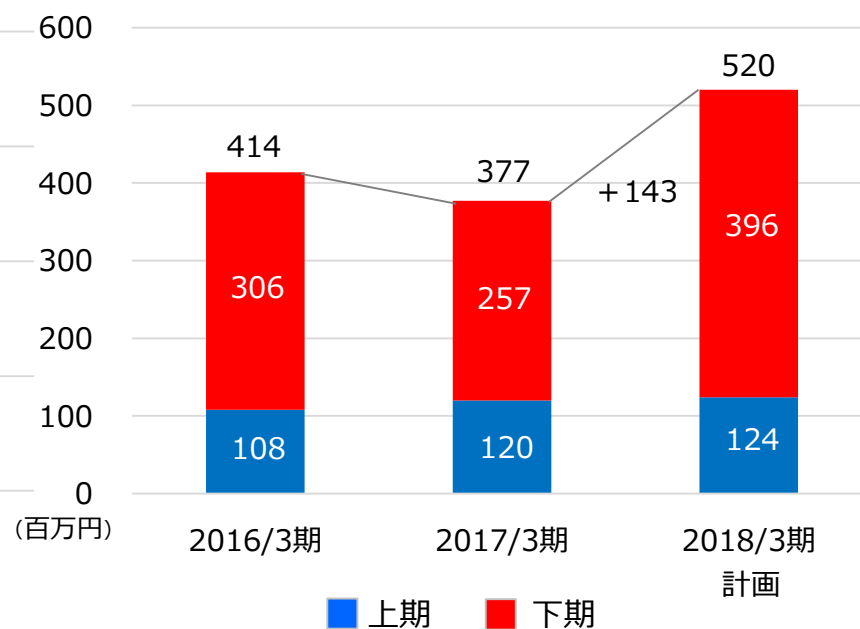
分野	製品	売上変動要因	状況・施策	上期実績	下期予想
化 薬	産業用爆薬	砕石・土木工事案件数	土木工事は減少傾向 リニア地下工事に伴う増加は来年度以降		
	発炎筒	国内自動車販売台数 車検台数	新車販売は好調 車検は上期増加、下期減少見込		
受託評価	危険性評価試験 電池受託評価試験	顧客のLiB開発状況	特別試験新規設備導入 東レリサーチセンター業務提携		
化成品	塩素酸ナトリウム	紙パルプ需要	シェア維持・拡大		
	過塩素酸アンモニウム	H II ロケット打ち上げ数	打ち上げ数の増加で順調に推移		
電子材料	電子・機能材料	顧客の動向 新規用途の採用促進	通信基地・車載用途の増加 最終製品の技術革新の進行		
その他	佳里多上海	—————	新規商品の取扱開始		
	三協実業	ポリスチレン需要・価格	シェアアップ		

製 品	売上変動要因	状況・施策	上期実績	下期予想
ペットボトル製品	生産能力 夏季の気温	ペットボトル飲料製造ラインの設備を増強 生産の効率化	➡	➡
缶製品	ボトル缶の普及 コンビニコーヒーの拡販	漸減傾向	➡	➡

【売上高】

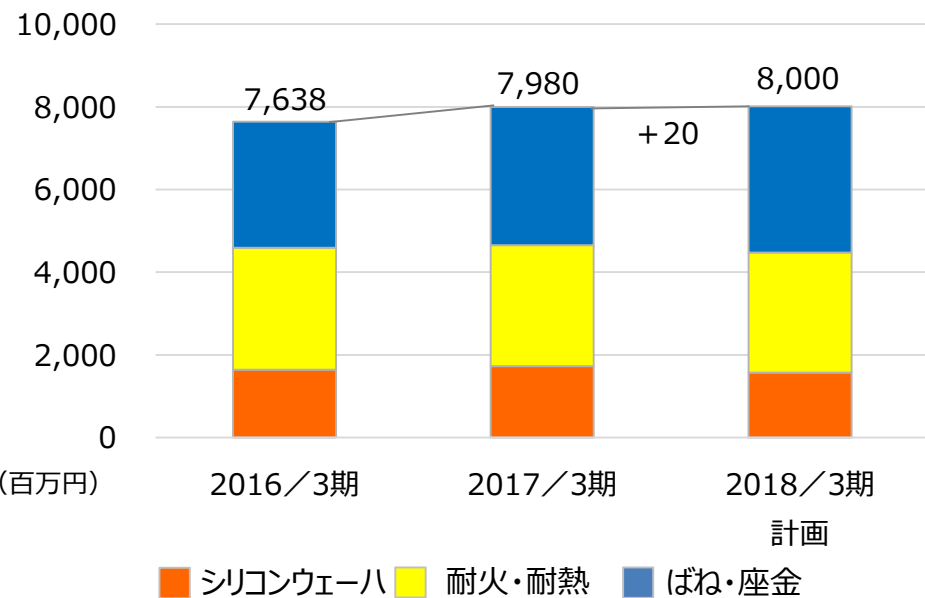


【営業利益】

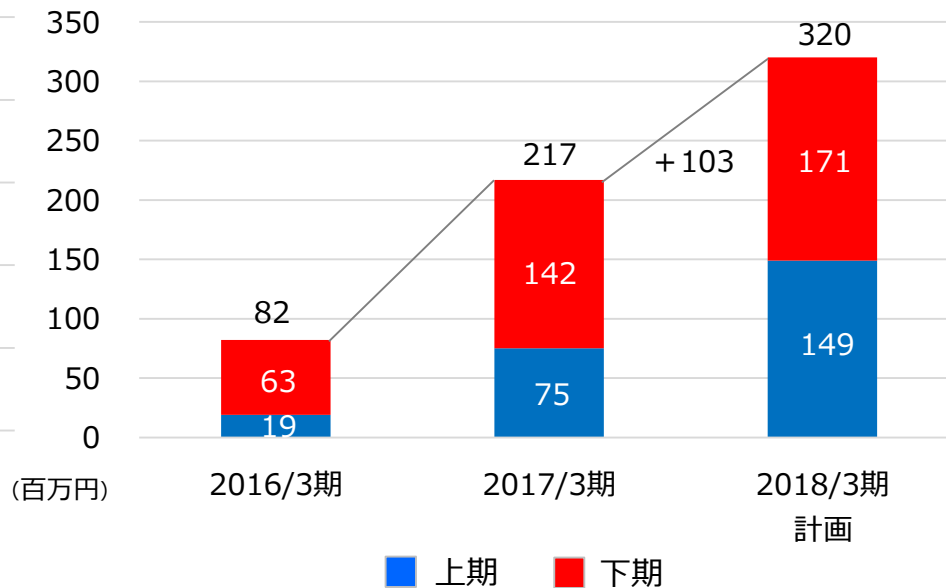


製 品	売上変動要因	状況・施策	上期実績	下期予想
シリコンウェーハ (シリコンテクノロジー)	半導体市場	市場は継続して好調 不採算品目からの撤退・高収益品の拡販 下期より新規事業開始 (ゲルマニウム精製)	➡	➡
耐火・耐熱金物 (並田機工)	炉 (焼却・製鉄・セメント) の 新規・定期修繕動向	都市ごみ焼却場・バイオマスプラント減少	➡	➡
ばね・座金 (東洋発條工業)	自動車・建機の生産台数	販路拡大・建機の市場環境回復	➡	➡

【売上高】



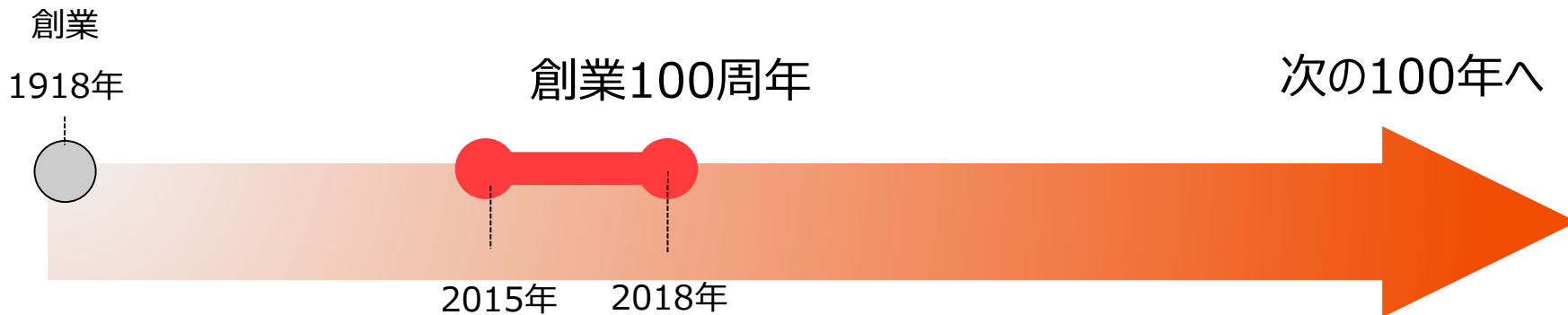
【営業利益】



中期経営計画「礎100」
最終年度とその先に向けて

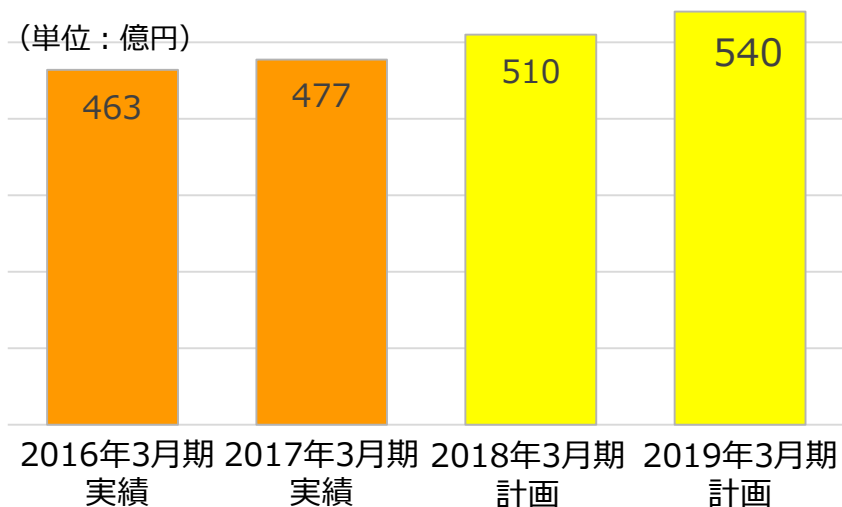
テーマ

- ①2018年の創業100周年を迎え、更に次の100年企業の礎となる事業基盤の確立
- ②グループ中長期目標（売上高1000億円）到達への道のりを確固たるものにする



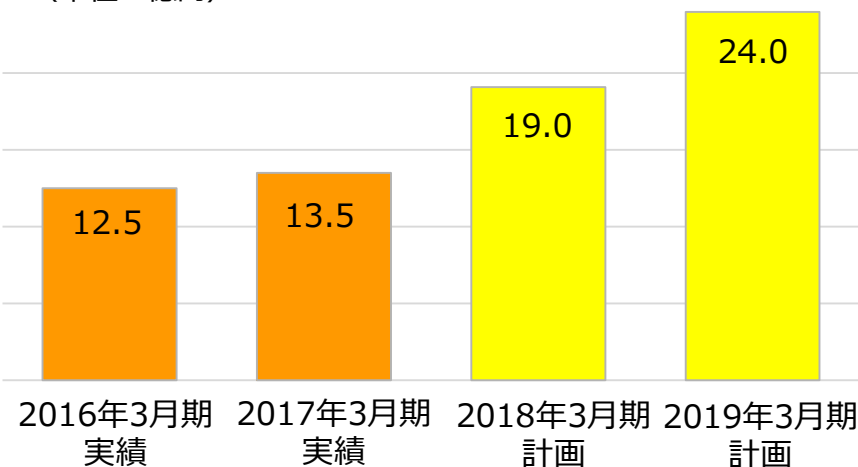
＜売上高＞

(単位：億円)



＜営業利益＞

(単位：億円)



次の100年に向けて

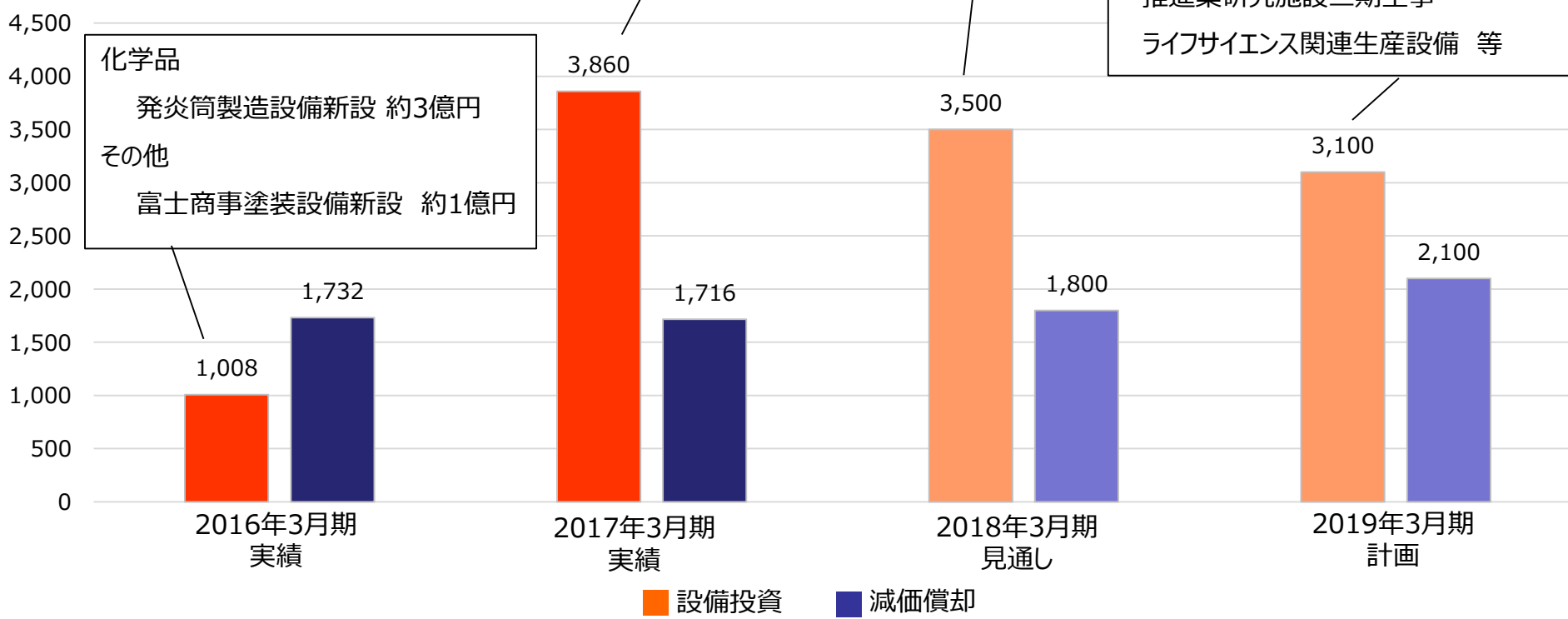
<設備投資・減価償却費 見通し>

化学品
 広桃発電所更新工事 約6億円
 ボトリング
 ペットボトル飲料製造ライン設備増強工事 約10億円
 開発
 推進薬研究施設新設 約10億円

化学品
 広桃発電所更新工事 約17億円
 危険性評価複合施設増強 約2億円
 産業用部材
 東洋発條工業新工場取得 約4億円

開発
 推進薬研究施設二期工事
 ライフサイエンス関連生産設備 等

(単位：百万円)



<広桃発電所更新工事>

2016年12月 着工

2018年 3月 (予定) 完工

年間発電量 約1,900万kwh

(購入電力料金 約3億円に相当)



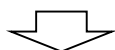
更新工事中の広桃発電所

<日本カーリット受託評価部 試験受注体制拡充>

2017年 3月 危険性評価複合施設 新設

2018年 1月 大型リチウムイオン電池圧壊試験機導入
(順次試験設備導入)

東レリサーチセンター業務提携



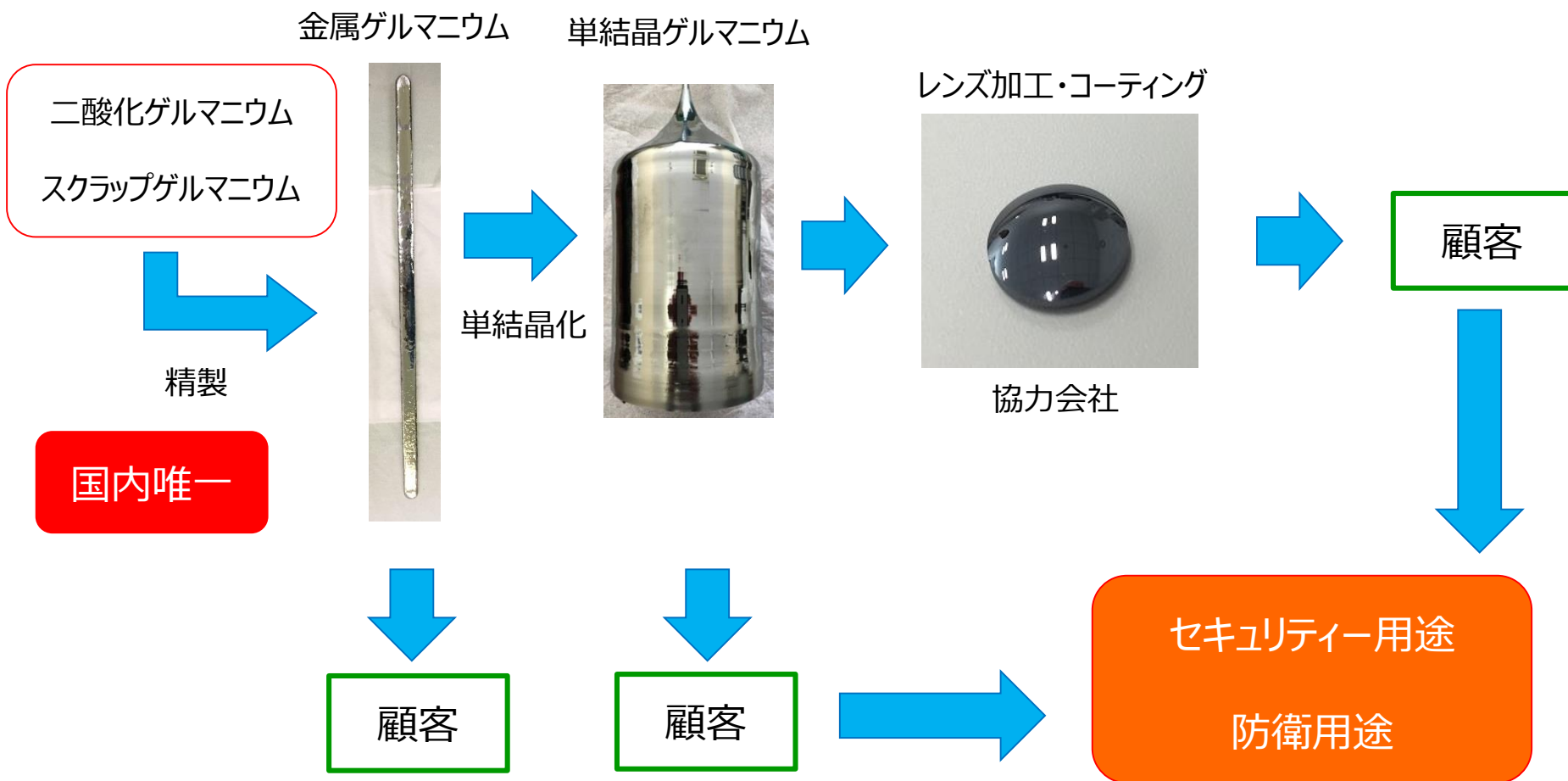
幅広い受託試験体制を構築



危険性評価複合施設

<ゲルマニウム精製事業>

二酸化ゲルマニウムや再生品ゲルマニウムから、ファイブナイン（99.999%）高純度ゲルマニウムを精製



＜高エネルギー分野の研究開発＞

2017年3月 推進薬研究施設完成

ロケット燃料（固体推進薬、液体推進薬）の開発



推進薬研究施設

＜ライフサイエンス分野の研究開発＞

パイロットプラント完成



茶殻



精製カラム



600L反応槽

2018年度量産
工場立ち上げ



スキンケア商品



洗浄・デオドラント商品

次の100年に
向けて

<次の100年に向けて>

企業価値の向上

持続可能な社会づくり

次の100年

1918年

2015年

2018年

IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報部
電話：03-6893-7060
メール：pr@carlit.co.jp

本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2017年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。